

令和 7 年度 学 習 の 手 引 き

教科名	地理歴史	年次	3学年	使用教材	地理探究(二宮書店)
科目名	地理探究	選択			地理探究ワークブック(二宮書店)
		単位	4		

科目の目標

- 1 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題を理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。
- 2 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所などのあらゆる社会的事象に着目し、概念などを活用しながら多面的・多角的に考察、地理的な課題の解決に向け構想、説明、それらを基に議論する力を養う。
- 3 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深める。

学習方法

- 1 基礎的用語の定着を行いながら、思考・判断に結びつける授業を行います。
- 2 日常から学習に前向きに取り組み、必要に応じて問題演習や家庭学習に取り組みましょう。
- 3 ノートを用意する必要はありません。授業ではワークシートを用い、ファイリングをしてもらいます。
- 4 日々の積み重ねが大切な科目です。授業の理解のためにわからないところを放置しないようにしましょう。

評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点		評価の観点の趣旨
①	知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題を理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所などのあらゆる社会的事象に着目し、概念などを活用しながら多面的・多角的に考察、地理的な課題の解決に向け構想、説明、それらを基に議論している。
③	主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。

評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備 考
定期考査	◎	○		年4回の定期考査を実施します
ワークシートの記述内容		◎		ワークシートの記述内容により評価を行います
レポート提出		◎	◎	
グループワーク・ペアワーク			◎	
行動の観察			◎	

◎特に重視する点

評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
A B C	6	3
B B B	5	
B B C	4	
A C C	3	2
B C C	2	
C C C	1	1

内容のまとめりととの評価規準

科目名: 地理探究

評価の観点 内容のまとめり		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	自然環境	地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。	地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。
2	資源・産業	資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。	資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。
3	人・モノ・金のつながり	交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。	交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。
4	人口、都市・村落	人口、都市・村落などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。	人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。
5	文化と国家	生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。	生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。
6	地域区分	・世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料を基に、世界を幾つかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解している。 ・世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身に付けている。	世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に考察し、表現している。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。
7	現代世界の諸地域	・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。	現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。
8	現代世界におけるこれからの日本の国土像	現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性、探究する手法などについて理解している。	現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。

年間学習計画

教科(地理歴史)学年(3)
履修形態(選択)

科目(地理探究)
单位(4)

[illegible]

単元の計画

教科名		地理歴史	対象学年・生徒	3学年 選択	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		地理探究	教材 題材	教科書		
単位数		4		ワークノート		
単元名		自然環境		ワークシート		
内容のまとめり		(自然環境)		Chromebook		
単元の目標		知識・技能 地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	思考・判断・表現 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。		主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深める。	
単元の学習内容		・地形について学習する。				
		・気候と生態系について学習する。				
		・世界各地の自然と生活について学習する。				
		・日本の自然環境と防災や地球環境問題について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。	思考・判断・表現 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。		主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	ワークシートの記述内容		○			
	グループ／ペアワーク				○	
	レポート提出		○		○	
	行動の観察				○	
配当時間		26時間				
補足等						

単元の計画

教科名		地理歴史	対象学年・生徒	3学年 選択	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		地理探究	教材 題材	教科書		
単位数		4		ワークノート		
単元名		資源と産業		ワークシート		
内容のまとめり		(資源・産業)		Chromebook		
単元の目標		知識・技能 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	思考・判断・表現 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。	主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深める。		
単元の学習内容		・農林水産業について学習する。				
		・資源・エネルギーについて学習する。				
		・工業について学習する。				
		・第3次産業(サービス業)について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。	思考・判断・表現 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。		
主な評価方法	定期考査	○	○			
	ワークシートの記述内容		○			
	グループ／ペアワーク			○		
	レポート提出		○	○		
	行動の観察			○		
配当時間		18時間				
補足等						

単元の計画

教科名		地理歴史	対象学年・生徒	3学年 選択	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		地理探究	教材 題材	教科書		
単位数		4		ワークノート		
単元名		人・モノ・金のつながり		ワークシート		
内容のまとめり		(人・モノ・金のつながり)		Chromebook		
単元の目標		知識・技能 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	思考・判断・表現 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。		主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深める。	
単元の学習内容		・交通・通信について学習する。				
		・貿易・観光について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。	思考・判断・表現 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。		主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。	
主な 評価 方法	定期考査	○	○			
	ワークシートの記述内容		○			
	グループ／ペアワーク				○	
	レポート提出		○		○	
	行動の観察				○	
配当時間		8時間				
補足等						

単元の計画

教科名		地理歴史	対象学年・生徒	3学年 選択	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		地理探究	教材 題材	教科書		
単位数		4		ワークノート		
単元名		人口、村落・都市		ワークシート		
内容のまとめり		(人口、都市・村落)		Chromebook		
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		人口、都市・村落などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。		地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深める。	
単元の学習内容		・人口について学習する。				
		・村落・都市について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		人口、都市・村落などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。	人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。		地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	ワークシートの記述内容		○			
	グループ／ペアワーク				○	
	レポート提出		○		○	
	行動の観察				○	
配当時間		9時間				
補足等						

単元の計画

教科名		地理歴史	対象学年・生徒	3学年 選択	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		地理探究	教材 題材	教科書		
単位数		4		ワークノート		
単元名		文化と国家		ワークシート		
内容のまとめり		(文化と国家)		Chromebook		
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。		地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深める。	
単元の学習内容		・生活文化と言語・宗教について学習する。				
		・国家とその領域について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。	生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。		地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	ワークシートの記述内容		○			
	グループ／ペアワーク				○	
	レポート提出		○		○	
	行動の観察				○	
配当時間		14時間				
補足等						

単元の計画

教科名		地理歴史	対象学年・生徒	3学年 選択	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		地理探究	教材 題材	教科書		
単位数		4		ワークノート		
単元名		地域区分		ワークシート		
内容のまとめり		(地域区分)		Chromebook		
単元の目標		知識・技能 ・世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料を基に、世界を幾つかの地域に区分する方法や地域の概念、地域区分の意義などについて理解する。 ・世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身に付ける。	思考・判断・表現 世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に考察し、表現する。		主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深める。	
単元の学習内容		・現代世界の地域区分について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 ・世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料を基に、世界を幾つかの地域に区分する方法や地域の概念、地域区分の意義などについて理解している。 ・世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身に付けている。	思考・判断・表現 世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に考察し、表現している。		主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	ワークシートの記述内容		○			
	グループ／ペアワーク				○	
	レポート提出		○		○	
	行動の観察				○	
配当時間		6時間				
補足等						

単元の計画

教科名		地理歴史	対象学年・生徒	3学年 選択	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		地理探究	教材 題材	教科書		
単位数		4		ワークノート		
単元名		現代世界の諸地域		ワークシート		
内容のまとめり		(現代世界の諸地域)		Chromebook		
単元の目標		知識・技能 ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解する。 ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。	思考・判断・表現 現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。		主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深める。	
単元の学習内容		・以下の諸地域について学習する。				
		中国、朝鮮半島、東南アジア、南アジア、西アジア・中央アジア、				
		アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、北アメリカ、南アメリカ、				
		オーストラリア、ニュージーランドと島嶼国				
単元の評価規準		知識・技能 ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。	思考・判断・表現 現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。		主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	ワークシートの記述内容		○			
	グループ／ペアワーク				○	
	レポート提出		○		○	
	行動の観察				○	
配当時間		51時間				
補足等						

単元の計画

教科名		地理歴史	対象学年・生徒	3学年 選択	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		地理探究	教材 題材	教科書		
単位数		4		ワークノート		
単元名		現代日本に求められる国土像		ワークシート		
内容のまとめり		(現代世界におけるこれからの日本の国土像)		Chromebook		
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性、探究する手法などについて理解する。	現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現する。		地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深める。	
単元の学習内容		2050年の日本に向け、以下の項目をテーマ別に学習する。				
		①自然災害に強い国土 ②産業の変化と持続可能な成長				
		③人口減少社会を活性化するために ④多文化共生社会の実現				
		⑤エネルギーの安定供給				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性、探究する手法などについて理解している。	現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。		地理に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する大切さの自覚を深めている。	
主な 評価 方法	定期考査	○	○			
	ワークシートの記述内容		○			
	グループ／ペアワーク				○	
	レポート提出		○		○	
	行動の観察				○	
配当時間		8時間				
補足等						